

# 道連ニュース

2021年11月号 No.180

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

こくみん共済coop北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

## 第3回道連理事会開催報告

10月7日(木)TKP札幌を会場にオンライン形式で開催致しました。議長には生活クラブの高階理事が選出され、麻田会長の冒頭挨拶を受け、議事に入りました。

### 【議決事項】

1. 日本生協連呼びかけの2021年8月大雨災害支援募金募金について20万円の支出の件。2. 北海道労働金庫との相互連携協力の推進に係る協定書の締結の件、3. アルプス処理水海洋放出反対署名の取り組みについてHPへの掲載協力を行うこと 4. 次回1月20日(木)理事会開催について、承認されました。

### 【審議事項】

1. コロナ禍第5波における事業・経営の影響について、特に大学生協の状況について、状況を共有しました。2. 北海道生協連「新年学習会企画」1月20日ポールスターホテルにての開催について 3. 灯油高止まり及び福祉灯油実施拡大への要請行動について 4. マイボトルエコアクション・海のクリーンアップ活動(10月20日・23日)

のよびかけについて 5. ほっかいどう若者応援PJの取り組みについて 6. 協同組合ネット北海道の11月26日浜田敬子公開講演会開催について 7. 北海道LPガス問題意見交換会後の取り組みについて 8. 労福協「2022年勤労者・道民の福祉にかかわる要請書」への要請項目について 9. 労福協「奨学金に関する電話相談」11月9日～11日告知協力及び教育費や奨学金返済の負担を軽減する税制支援オンライン署名の紹介について協議がなされました。

### 【報告事項】

1. 一般活動経過報告 2. 第2回理事会議事録について 3. 2021年度上期決算速報報告 4. 北海道生協連65周年記念ブックレット進捗について 5. こども食堂北海道NW支援の進捗について 6. 道・友好団体他 7. 北海道東北地連報告、その他「北海道生協運動史増補改訂版」配本完了について、報告がなされました。

## 協同組合ネット北海道からの 「公開講演会(オンライン)」のお知らせ

協同組合ネット北海道がオンライン公開講演「安心して暮らせる地域社会づくり」～コロナ後の地域社会を生きるために。協同組合の役割と可能性～」を開催します。



今年の講師は女性初のAERA元編集長、最近ではフリーライター、各メディアでのコメンテーターなどでご活躍をしております浜田敬子さんに講演をいただきます。

参加お申し込みは10月1日よりQRコードまたはWEBフォームよりご登録いただけるようになっておりますので、お時間がございましたら是非、お申し込みをお願いいたします。



1. 講師：浜田 敬子さん(ジャーナリスト)
2. 開催日時：2021年11月26日(金)13:00～14:30
3. 会場：オンライン開催(Zoomを使用したリアルタイム配信)
4. 定員：500名(無料)
5. 申し込み：2021年10月1日(金)～2021年11月19日(金)
6. 主催：協同組合ネット北海道
7. お問い合わせ：北海道労働金庫 営業推進部 非営利・協同セクター取引推進室  
TEL: 011-271-2105

### <協同組合ネット北海道 構成18団体>

北海道農業協同組合中央会・北海道信用農業協同組合連合会・ホクレン農業協同組合連合会・北海道厚生農業協同組合連合会・全国共済農業協同組合連合会北海道本部・北海道漁業協同組合連合会・北海道信用漁業協同組合連合会・北海道森林組合連合会・北海道生活協同組合連合会・生活協同組合コープさっぽろ・生活協同組合連合会大学生協事業連合北海道地区・北海道労働金庫・日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会センター事業団北海道事業本部・こくみん共済coop北海道推進本部・北海道報徳社・北海道大学大学院農学研究院

10月3日(日)10時より「食べる・たいせつフェスティバル2021オンライン」を開催いたしました。食べる・たいせつフェスティバルは、体験を通して「食べることのたいせつさ」を学べる食育イベントです。昨年は中止を余儀なくされ、今年も人を集めることが出来ない状況下でしたので、初めてのZOOMでのオンライン開催に挑戦することになりました。今回は、宅配利用の組合員さんを主な対象として、宅配のカタログを中心に宣伝、ライブ体験募集、応援企画、視聴者プレゼントなどに取り組みました。



コープさっぽろLUCY店の文化教室をオンラインスタジオに設置し、道内の組合員さんとオンラインでつなぎ発信いたしました。参加いただいた出展社様は、ヤマザキ、HBC、ヤクルト、伊藤ハム、ホクト、小川珈琲、加藤産業、サントリーフーズ、シャボン玉石けん、中央化学・イーパック、くらしと生協の11社。ライブ体験企画には、抽選で選ばれた小学生の親子15組が、オンラインでやりとりしながら、ピザ作りやサンドイッチ作りに挑戦しました。参加した子供たちは、自分で作った料理を見せながら出展社さんと会話を楽しみました。ライブ体験ZOOM視聴者数は、1,631人(10月6日現在)

となりました。

一方、組合員活動委員会では、各地区委員会が地元の生産者を応援するYouTube発信に挑戦しました。各地区委員会が、地元の工場や生産者の畑に出向いて、生産者さんにも登場いただき動画を作成しました。小樽地区はさくら食品のコープ黄金そだちの北海道産別海牛乳ソフト、南空知地区は酒井農場のとうきびたまご、旭川地区はJA上川中央のあいべつきのこと大雪高原牛、北見地区は一戸農場のごぼう、函館地区は函館カール・レイモンのハム・ウインナー、帯広地区は中田食品の十勝ひとすじもめん豆腐。地区委員が普段から交流をしている生産者さんのおいしさの秘密やこだわりの商品を全道の組合員にお知らせすることができました。生産者応援YouTube発信視聴者は2,938人でした。



今回、ライブ配信とYouTube発信で合わせて4,600人に参加していただくことができました。はじめてのオンラインでの取組でしたが、今まで、参加することのできなかった地方の組合員さんにも参加の機会をつくることができました。



## 旭川大学生協 創立総会 工夫を凝らして成功

### 14番目の大学生協の仲間が増えました!

#### 大学生協北海道ブロック



全国から集まった祝福メッセージ 署名、7割の書面議決書、コロナ禍で64名の実出席でしたが、旭川大学生だけでなく全国の生協関係者にもオンラインで視聴頂きました。駆けつけてくださった全国大学生協連合会中森専務・全国大学共済連佐藤専務・事業連合北海道地区須田常務の激励の他、多くの大学生協から祝福メッセージを頂きました。(左上写真) 発端は昨年6月、あさひかわ福祉生協倉島専務の仲介で、大学生協について説明に担当の豊島副学長を訪問したことでした。コロナ禍で食堂業者が撤退して2年目となり、地元の業者さんや給食事業者にも断られ、何とかできないかと思われていました。

キャンパス人口が千人程度で短大生の構成比も高い事から、依頼により作成した事業計画では初期投資も回収できないものでしたが、学校法人旭川大学で設備投資や

水道光熱費を負担頂けることとなり、法人より指名された生協準備委員(教員)が、①教材等特有のニーズ調査、②大学の業務移管、③定款規約、について検討を進め、2月には学生も加わり活動が本格化しました。

4月入学式での学生のプレゼン、5月法人・生協設立準備会・事業連合との生協設立覚書締結、6月賛同署名集約開始、9月24日に創立総会を公告し、書面議決書集約を開始しました。コロナ禍で学内に学生が入構できなく、対面で会議ができない期間はオンラインツールを活用し何とか乗り切りました。

創立総会では、2つの動画(生協とは、全国の大学生協からの祝福メッセージ)で参加者にわかり易く伝える工夫もされ、Youtube配信は162回再生されています。

全学部・全階層から選ばれた理事、学生委員も張り切って生協加入、22新歓に取り組みます。どうぞ今後ともご支援いただけますようお願いいたします。



豊島理事長(教員)・木谷専務理事(教員)役員一同